

赤嶺政賢講演に続くビッグ企画第2弾

沖縄を撮り続けて50年 カメラがとらえた真実の重み



うれしのきょうこ
講師：嬉野京子氏
2016年日本ジャーナリスト会議
特別賞受賞 報道写真家

とき：11月10日(木)

18時30分開演

ところ：多摩市民館
3階大会議室

資料代 500円

かつて沖縄には憲法がなかった！

その時代から沖縄に寄り添い、支えられながら50年間取材し続けてきた報道写真家嬉野京子さん。1965年の祖国復帰行進に参加し、取材を始めた。

当時、入域許可証が必要だった米軍占領下の沖縄では、カメラを所持するだけで命の危険にさらされた。撮影は沖縄人民の闘いの力で記録された。宜野座村での米軍車両に轢き殺された6歳の女の子の写真は、日本本土に世界に沖縄の現実を知らしめた。その後、今日のオール沖縄に結実していった沖縄の心を取材してきた50年間で著書『戦場が見える島 沖縄』で語っている。嬉野京子さんの写真を知ることは沖縄を知ることにつながる。

今、憲法がある沖縄。しかし、安倍政権は憲法を踏みにじて沖縄に対して権力の横暴の限りを尽くしています。今年2月赤嶺政賢氏の講演会で「沖縄は負けない。勝つまでたたかうから」に励まされました。沖縄に学び、共にたたかう講演その第2弾！

みなさまお誘い合わせの上、ぜひぜひお越しください。



連絡先：「戦争法を許さない！多摩区実行委員会」神奈川土建多摩支部内 Tel・044-931-3336